

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					
フンステップスマイル徳延教室		2026年 3月 20日					
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	広々しているので子どもたちも楽しめていると思う		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1	利用定員に対しては適切 プラスアルファの配置をしているため手厚い	子どもの状態によっては配置が不十分だと感じる場面もある	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	2	2Fであるためバリアフリーは不可能だが、パーテーションなどを利用して安心と安全の工夫をしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	1	清掃と消毒は1日2回行って、清潔を保つようにしている。換気については常にできないのでお昼休みなどの限られた時間で行っている。	換気については常にできないのでお昼休みなどの限られた時間で行っている。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1	個室対応など、お子様の様子に合わせた環境対応は可能。またパーテーションを使用しているパーソナルスペースの確保も行っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	1	毎日の朝礼と終礼で振り返りができている。 出勤のない日も職員連絡ツールにて情報共有ができている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2	・アンケートを基に確認している。 ・保護者様から児童の様子の情報や意向を取り入れて支援している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	・随時職員の意見を確認できるように配慮している ・終礼などで意見を伝えられたり相談できて助かっている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	3		現在、外部評価はしていないが、必要に応じて検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1	研修計画に基づいて実施。研修動画の活用。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	1	ホームページにて公表している。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0	保護者との面談で丁寧に聞き取るよう努めている。また複数の視点で支援計画書の作成や更新を行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	月に1回職場会議の中で協議・検討している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1	計画書を一覧できるようにしている。同じ方向性で支援できるようにしている。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1	支援は、日々の様子を観察し、踏まえた上で考えている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1	本人、ご家族だけでなく、相談支援員や利用者を取りまくその他の機関と連携したうえで設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1	チームで案を出し合っ、内容を決めている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	数か月前から月間予定を立てている。療育的観点から様々なゲームや製作を行っている。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	利用者・状況・季節に応じて活動の流れを考え作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	1	朝礼時に確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1	終礼で確認している。職員ごとの見立てや考えも共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	日報や連絡帳にて日々の支援を記録している。また利用者ごとに個別の記録もとっている。	記録をペーパーレス化・デジタル化へ向けて移行中
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	子供の様子や保護者様の話などから必要に応じて見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	1	自立支援の他、創作や余暇活動、イベントへの参加など基本活動を組み合わせている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	保護者の意向や支援計画を踏まえたうえで、本人の意思を尊重して進めていけるように支援をしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	児童発達管理責任者、管理者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	1	当教室の担当者から、市の障害福祉課や、園や学校などと連携できるように体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	1	送迎時などの時間も活用し、共有している。	会議などにも積極的に参加していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	1	児童発達管理責任者、管理者が必要な子どもに応じて個別に対応している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1	まだ移行期の卒業生がいない。	近く卒業予定の利用者（児）がいるため、必要な情報を提供する。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	2	顔の見える関係づくりができているため、必要に応じて相談する場を設ける体制ができています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	6	交流は現在のところ予定はない。	地域のイベントに参加するなどして交流を図れるよう進めていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	1	管理者が必要に応じて参加。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	1	電話やLINEで連絡を取り合っている。	これまで以上に、保護者様から状況提供のしやすい環境を作っていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	ペアトシなどの研修は行ってないが、個別相談などの形で日々保護者支援として情報提供を行っている。	家族支援の周知と情報提供などの機会を増やしていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1	契約時に必ず実施している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	1	契約時のアセスメント、面談時、個別に寄せられる相談などから家族の意向を聞き取り子供の最善の利益に考慮したサービス提供を行っている。	状況やご家族の意向に変化があれば都度調整をしていく
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	説明の機会を作り、同意をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	1	必要に応じて助言や支援を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	0	保護者会を定期的に開催している。	今後は加えて参加者にアンケートをとることを検討。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	1	至らぬ点はすぐ連絡をいただけるよう契約時にも説明をしている。またその場合はすみやかに状況を確認し対応できるよう務めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	毎月のお便りや、SNSでの発信をしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	管理には十分に注意し、入職に説明を行っている。個人情報に関する研修も定期的に行っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	1	伝え方や行動分析、環境調整に留意し、職員間で共有し支援にあたっている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5	招待はないが、近隣の施設（お店）の方との交流をしている。	地域住民を招待できるようなイベントなどを検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	3	各マニュアルを作成し、研修を行っている。	より適切な周知などの方法を検討する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	3	各マニュアルを作成し、研修を行っている。	定期的な訓練と共有が必要
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	1	情報用紙に必ず記入をお願いし、変更があった場合もご連絡をいただくようにしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	研修で安全管理について学び研修を行っている。	さらなる物資の充実。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	発生した際に共有や検討できるように整えている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	1	定期的研修以外にも、地域研修などで積極的に職員を受講させている。その後、事業所で伝達講習をしてフィードバックを行っている。	来年度はさらにオンライン研修も加えて行う
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0	身体拘束防止委員会において適切に協議のうえ、必要時はm児・保護者へ説明したうえで支援計画に記載している。		